

海外派遣で人材育成

AMDAの活動学ぶ

ま 開講
か や
お 国際
国 塾

国際貢献できる人材を育成する「おかやま国際塾」が27日、岡山

学生3人が国際医療ボランティアAMDA（岡山市）の活動を学べる。市北区津島中の岡山大び、インドネシアを訪問し、開講期間は1年。8月に1週間、インドネシア・マカッサル市のハサヌディン大で学生と交流し、同大付属病院や近隣の児童施設でボランティアをするのがメイン。渡航前には学生自ら現地機関と日程調整し、帰国後はAMDA、岡山大で活動報告する。

岡山大教員とAMD

Aによる実行委が主催

を受けた。

岡山大薬学部3年藤田麻緒さん(20)は「発展途上国で本当に求められている支援が何なのか知りたい」と話していた。

同塾はモンゴルで8人が研修した昨年度に続き2回目。

(黒崎平雄)



菅波委員長（左）のあいさつを聞くおかやま国際塾の参加者

参加したのはいずれも女性で、岡山大2人、川崎医療福祉大1人。開講式で実行委員長の菅波茂・AMDA代表が「物の見方が違う人と共存共栄する方法を体験してほしい」とあ

いさつ。この日はスマトラ沖地震(2004年)で大きな被害を受けたインドネシアの復興を支援した、AMD Aの活動について講義を受けた。